

仙台平野海岸林造成地への海浜植生の導入について

雪印種苗(株)環境緑化部 鈴木 玲

生物多様性の視点から、海岸林造成地に海浜植生を導入しよう

1. クロマツ植栽による防潮林の造成状況と外来種の侵入

先の東日本大震災の津波被災地における海岸林の復旧事業が、一部ボランティアの参加も含め、急ピッチで進められています。

現地では早期の防潮効果の発揮を目標に、盛土をしてクロマツの植栽が行われています(写真-1)。

裸地が一気にできたことにより、外来種の繁茂が危惧されますが、既に盛土法面には外来草本の侵入も多く見られます(写真-2)。



写真-1. 海岸林の復旧（クロマツ植栽：仙台荒浜）



写真-2. 海岸林盛土法面への外来草本の侵入（仙台荒浜）

2. 多様な海浜植生の復元へ

短期的にはクロマツを中心とした防潮林の造成を急ぐ必要はありますが、長期的には自然再生の視点も重要考えられます。多様な生物の生息地である海岸林(写真3,4)へ近づけるため、砂浜植生復元も求められます。



写真-3. 海岸の砂浜植生（釜石市鶴住居）

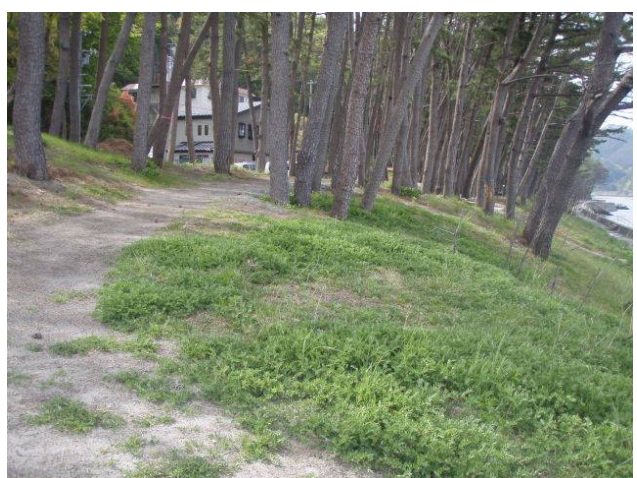


写真-4. 海岸の砂浜植生と松林（釜石市鶴住居）

海岸林復旧事業において、早急な防潮林造成とともに、生物多様性保全の視点および外来植物繁茂の抑制のために、地域に残存する海浜植生の保全と造成地への導入も行われることが望ましいと考えられます。

3. 海岸林造成地付近での海浜植生の状況

被災海岸には、徐々に海浜植生群落が復活してきています(写真5)が、防潮堤工事や盛土工事により、かなりのダメージを与えています(写真-6)。



写真-5. 復活してきた海浜植生 (仙台荒浜)



写真-6. 海浜での工事 (仙台荒浜)

海岸林造成工事現場の隣接地(防潮堤工事との緩衝地帯?)に、枯損した松林がそのまま残っているエリアがあり、そこではもとの海浜植生が息づいています(写真-7,8)。



写真-7. 残存する枯損した松林(名取)



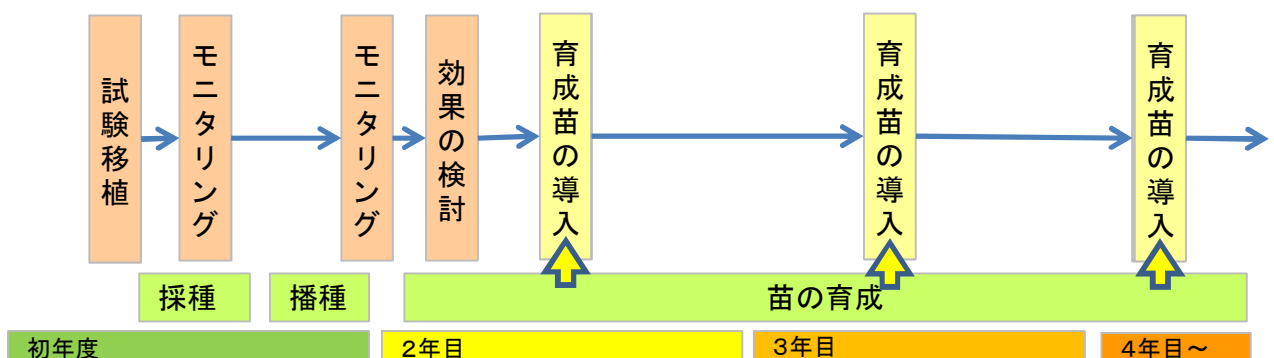
写真-8. 残存した松林に生息する海浜植物 (ハマエンドウ、ハマボウフウ、ハマヒルガオ、ウンラン)

4. 海岸林造成地への海浜植生の導入

長期的には残存する海浜植物から採種育成し、苗を植えていくのが望ましいと思われます。

採取時期は夏以降になり、播種して苗ができるのは来年以降となります。

このため今年度は移植による試験的な導入と、種子採取～圃場での播種を行なっていくことが望ましいです。



<参考資料1 海浜植物の育成>



写真-9. 種子採取



写真-10. 播種 (釜石根浜)



写真-11. 発芽(ハマヒルガオ：仙台荒浜)



写真-12. 苗の育成 (植替え)



写真-13. 苗の育成



写真-14. 苗の育成

以上

北の里浜ネットワーク 花のかけはし（仮称）案

～～～被災海岸の植物を北海道で育て、被災地で一緒に植えていこう！～～～

<背景>

○被災海岸の生態系の破壊

- ・もともと東北地方の海岸付近に残っていた生態系（砂浜～海岸林＋後背湿地）が津波で大きなダメージを受け、さらに今、防災工事で失われていっている。
- ・防災工事はアセスも無く、一律で破壊的。生態系保全の視点が必要。

○（北海道から）3年近く経った今こそ、出来る支援を継続的にしていきたい

- ・これまで被災地を訪れる機会に恵まれなかったが、今からでもしていきたい
- ・被災地のことを知りたいが、今さら行きにくい

○（被災地から）忘れないで欲しい。今こそやることがあるが、まだまだ支援が必要。

- ・いまだ復興は遠いものの、他地域から忘れられた感も漂う
- ・もっと多くの人に、経験を伝えたい。今後のために知ってもらいたい。
- ・防災教育は、これからも継続的に行なうことが重要。

<目的>

両者の想いをつなげて、被災した海辺の自然環境を守り、育て、次世代につないでいく

<活動内容>

- 1) 現地で採取したタネを、秋・春に育苗箱に播きます。
- 2) 春に芽が出て、少し育ったら、初夏にポットに植え替えます。
- 3) 夏の終わりころ、育てたポット苗を現地に持っていき、地元の人たちと一緒に植えます。そこでさまざまに交流します。採れるタネは、その時採ります。



写真-1. 播種（釜石根浜）



写真-2. 残存した松林に生息する海浜植物

<参加団体(想定)>

宮城： ゆりりん愛護会・名取ハマホウワウの会（名取）
 荒浜再生を願う会（仙台）
 わたりグリーンベルトプロジェクト（亶理）
 東北学院大学 平吹教授
 岩手： 三陸ひとつなぎ自然学校（釜石）

北海道： いしかり海辺ファンクラブ
 北の里浜ネットワーク北海道（仮称）
 手稲さと川探検隊など有志団体
 北海道大学 松島肇講師 ほか
 雪印種苗株式会社